



平成30年度CAPサミット 別添資料ならびにアンケート

会員青年部代表者各位

事業運営・理事出向や会長・副会長の選出についてなど、長きに渡り代表者の皆様と討議してきました。現在、代表者の方で今までの話の経緯をご存知でない方も多くおられるかと思い、第3回CAPサミットの事前資料として、現在の理事出向の形になったのか等の経緯を纏めさせていただきました。平成30年度のCAPサミットでは、会員青年部代表者様そしてそれぞれの青年部の会員の皆様に「京都青年中央会会員」であるという意識と自覚を持っていただきながら、長きに渡って討議されていた案件について意思決定し、2019年度には、京都府最大の異業種団体であり、日本や世界に誇れる最高の技術を持った最高の仲間が集まる京都青年中央会だからこそ出来る「あきない事業」をメインに「CAPフェスタ」など、第19期テーマ「The best smile with the best fellow～最高の仲間たちと最高の笑顔～」の通り、京都青年中央会と会員青年部及び構成員が団結し、最高の笑顔になれる事業展開してく為にも、皆様のご協力をお願い申し上げます。

また、当日は少しでも多くのご意見等をいただきたいので、事前アンケートを行わせていただきサミットをはじめ次年度に向けての資料させていただきたく、別紙事前アンケートにご協力いただきます様併せてお願い申し上げます。

第19期会長 岡野恵美

平成30年度 CAPサミットならびにN-CAPサミット(居酒屋サミット)スケジュール

第1回CAPサミット(平成30年4月23日).....年間スケジュールの説明・補助金について

第2回CAPサミット(平成30年9月28日).....CAPフェスタの運営について

第3回CAPサミット(平成30年11月16日).....理事推薦者のルールに関する事について

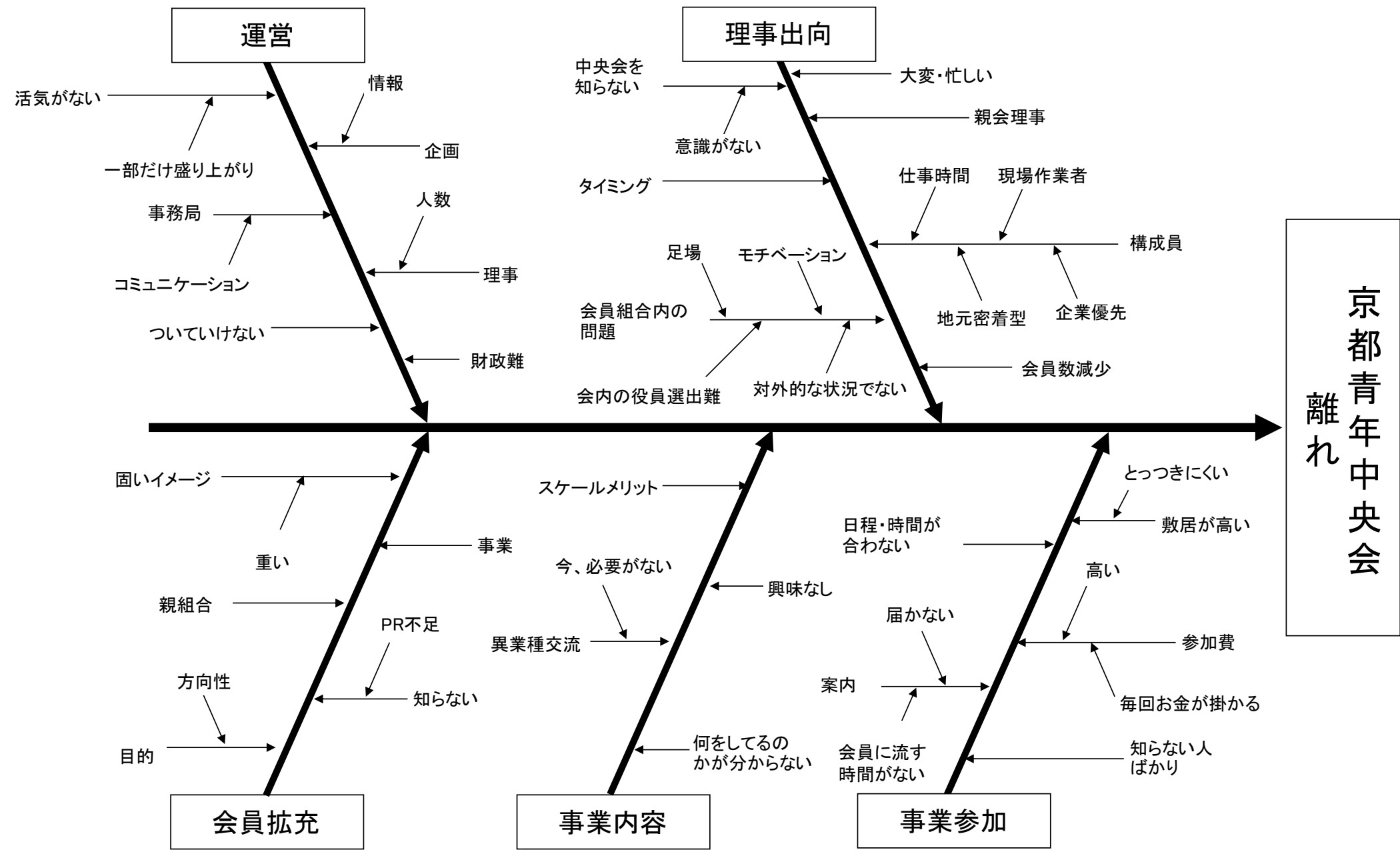
第4回CAPサミット(平成30年2月15日).....CAPフェスタの運営報告・理事推薦者のルールに関する事について(報告と意思決定)

第1回N-CAPサミット(平成30年7月14日)・・年間スケジュールの説明・補助金について
7月豪雨に伴う被害状況について

～CAPサミットとは～

- ①会員青年部の代表者が集まり意思決定を行う場である。
- ②未来の京都青年中央会について話し合う場である。
- ③京都青年中央会を活性化していくための場である。
- ④会員青年部間の連携を図る為の場である。

「京都青年中央会離れ」をテーマに、下図のフィッシュボーンチャートを見ながら、代表者の皆様に本会の次世代に残したい事業やこうすればもっと良くなるのでは等についてテーブルディスカッションを行いました。 平成26年度CAPサミットより



京都青年中央会の次世代に残したいもの

- ・ 異業種間の連携（つながり） 同業では学ぶことの出来ない知識。
- ・ 青年の時代に過去より学び、新しきを創造する力を養う事。
- ・ 「継続は力なり」続けるのが一番大切なこと。
- ・ いろんな方と繋がり、それがどんどん増えて広がっていくところ。
- ・ 次世代という大きな事に対しては意見はありませんが、CAPフェスタを続けていくなら参加事業者/組合の業務に関する内容で出展する。
- ・ 京都の青年会の横の繋がり、強さとその大切さ。
- ・ CAPフェスタ等 ひとつの事をつくり出すという経験。
- ・ 皆さんが多忙にも関わらず、CAPフェスタのような大きな事を行う事が出来る「結束力」「行動力」。
- ・ 業界団体として行政と関われる。
- ・ 残したいと思っても残らないものもある。次世代が何を引き継ぎかは次世代が決めること。自然と引き継がれて残ったものが中央会の伝統。

京都青年中央会こんな会になって欲しい事

- ・ 様々な事業などに関わり、特に異業種の方との出会いを通じて、その中で事業などを一緒に組み立てやり遂げることの難しさや、やり終えた後の達成感を感じれるような出会い、絆づくりの場としての会であって欲しい。
- ・ 事業をすることが目的でなく、事業をした事によって経験したことを、次のステップアップに役立てたり出来るように、関わった一人ひとりが考え、悩みながら成長していける様な学びの場であって欲しい。
- ・ すぐにではない場合が多いですが、自分たちがやったことになにひとつ無駄がなく、参加した人間にとって必ず何らかの形でプラスになるになるという事に気づける場であって欲しい。
- ・ 個人会員にならなくても、異業種と交流出来る貴重な会ですし、その意義を伝えて、会員同志の交流の機会を残して欲しい。

会員青年部さんにとって京青中は必要なのか、そうではないのかを単刀直入にお聞きした結果...



必要と意思決定

相互扶助の精神により、理事出向を行って貰い様々な業種の会員青年部に見合った事業を行う事となった。

平成27年度 CAPサミット

◆ 理事出向に向けて、各青年部の状況は？

- 理事出向可能な青年部 2～3青年部
 - ・異業種との繋がりを経験させたいと思っている。
 - ・自らの経験値を上げて欲しい。
- 企画案などが可能な青年部 1/3青年部
 - ・理事出向はハードルが高いが運営のお手伝いは出来る。
 - ・具体的な内容が分かれば可能。

- ## ◆ 理事出向出来ない理由
- ・仕事上で時間が合わないため。
 - ・会員に従業員が多いため。
 - ・今の時代、強制的に出向させる事が出来ない。
 - ・青年部の人数減少により人選が難しくなっている。
 - ・個人の事情や経済的な事がしんどい。(参加費などの一部負担はしている。)
 - ・エリアの広い中での選抜が難しい。
 - ・責任感のない人を出向させて迷惑を掛けたくない。
 - ・役を持たされると重荷に感じる人もいる。
 - ・青年会の世代交代ができていないので今は難しい。

◆ 理事出向している・はさせたい・出来ている理由

- ・CAPフェスタ実行委員出向⇒理事出向というシステムが出来上がっているため、今後も同じ様に理事出向します。
- ・ほぼ、強制的にはあるが出向して貰っている。何らかしらのハンディがあっても責任感を持ってやってくれている。
- ・会長からの指名で出向して貰っている。
- ・出向させたい人材がいる時は、何としてでも行って欲しい旨要請している。
- ・理事出向した人たちが少なからず色々な意味で成長して戻ってきてくれているから。

会員全員で出向しなければならないという意識・雰囲気を作っていくのが各青年部の会長・役員の役目なのではないか・・・。

輝きを与える事で成長する人もいるだろうから、興味をもっていそうな人材を見つけてあげ、その人を育てるつもりで出向させてみてはどうか・・・。

事業に参加する意味やメリットが目に見えて分からないから、まずはそこから始めてはどうか。

人との繋がりが出来るのは、これからの自分にとっては良い事だと思う。それがメリット。

◆ 今後、どうすれば？

- ① 出向理事型
44青年部から一人ずつ出向してもらおう。(ただし、会員人数等の事など特例も考慮が必要かも)
- ② 会員青年部型の意見
ブロック制にして、事業ごとに計画して貰う。

◆ 出向理事型の意見

- ・会の特性があるが、今までの経歴からいくと「出向理事型」
- ・基本的には「出向理事型」
- ・「出向理事型」が理想。条件をクリア出来る状態を作る方法を考える必要があるかもしれない。
- ・やる気のある人が出てくるべきなので「出向理事型」
- ・会員の皆さんに経験して貰いたい意向があるので「会員青年部型」
- ・本来は、自主的になるもの。各組合が責任を持って考えるべき。
- ・現実的に考えて「出向理事型」

◆ 会員青年部型の意見

- ・会員の皆さんに経験して貰いたい意向があるので「会員青年部型」
- ・徴兵制といえばキツイ言い方になるが、半強制的でも参加して貰う方が良いと思うので「会員青年部型」
- ・それぞれにメリットデメリットがあるが、どちらかといえば「会員青年部型」

「出向理事型」⇒13名 「会員青年部型」⇒6名

◆ 出向理事型にするなら、どんな方法？

- ・一青年部一名理事出向がベスト
- ・会員全員に経験して貰いたいので会員青年部から一名出向が理想。
- ・各青年部の状況などもあるので、全会員青年部からは難しいと思うので従来とおり。
- ・色々なことを精査して条件付きの全会員青年部から一名出向。
- ・自主的に出るのが一番良いと思う。
- ・輪番制にすれば、出向を考えざるを得ないと思う。
- ・運営していくために理事数は確保しなければいけないので輪番制または全会員青年部から一名。
(ただ、出席率が低くなる可能性があると思う。)

「全員理事出向」(ブロック制や輪番制も含めて)⇒14名
「自主的制」⇒5名



最終結論として、ステップアップ方式(数年掛けて段階的に)をとり、全会員青年部から一名出向型にするのが最良という意見でまとまった。



平成29年 2月17日規約改正

第4章役員、顧問

(役員) 第10条 第2項 会員青年部は1名の理事推薦をする。とし、京都青年中央会運営マニュアルを作成し、
【理事出向推薦者について】1. 所属員数が10名以下については、理事出向推薦を免除することが出来る。
と決めた。

京都青年中央会

組合青年部



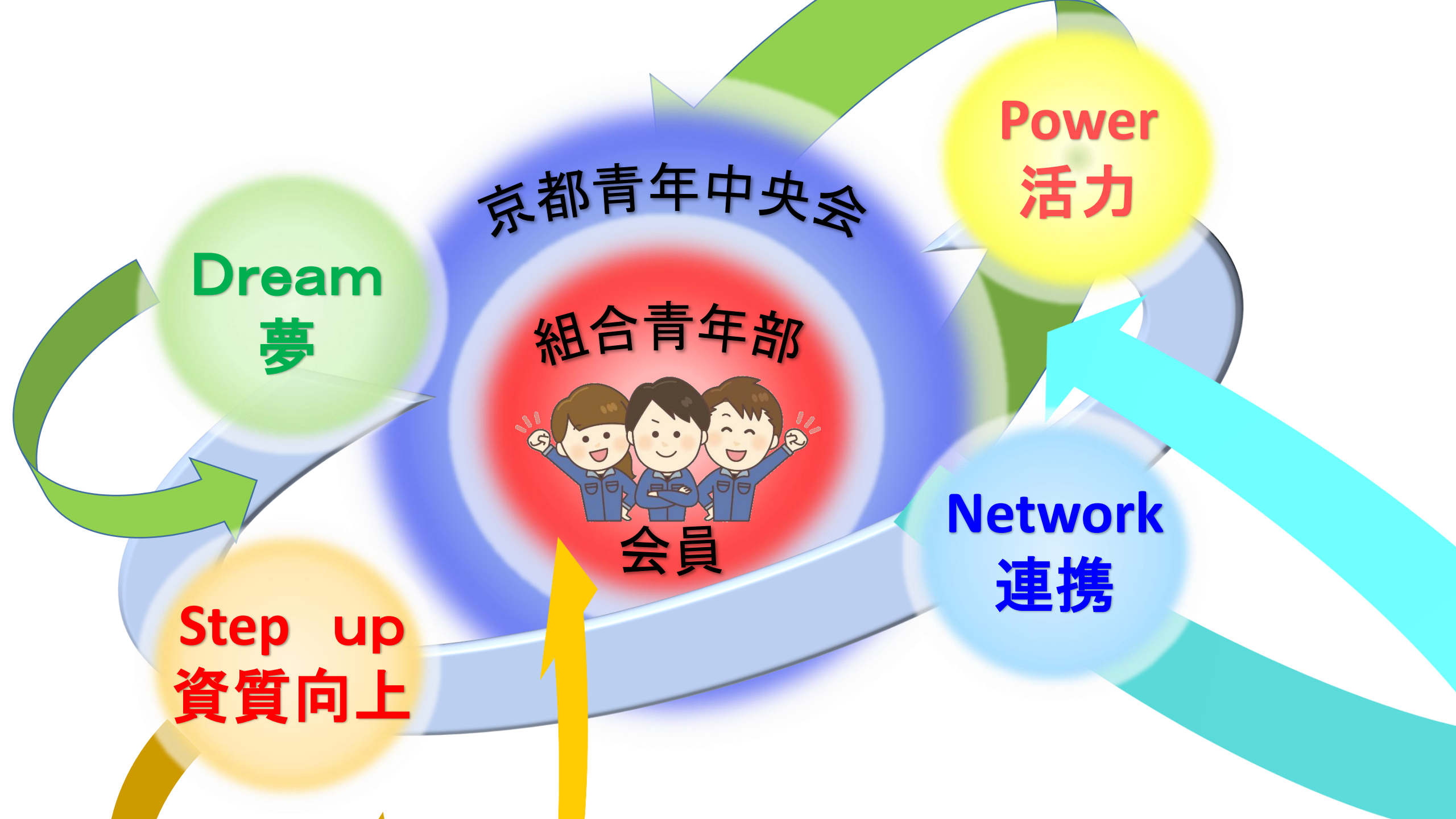
会員

Power
活力

Network
連携

Dream
夢

Step up
資質向上



京都青年中央会は、個人的な異業種組織ではなく、団体の異業種組織です。

団体の異業種組織としての強みは??

単年または2年程度で所属長(会長, 部長)が代わるので、その時々で顔ぶれは変わります。

ただ、業種自体は何も変わらないので永年に渡る年度ごとのネットワークが出来ます。

ということは・・・将来的にはネットワークの層が出来、どの年代にも繋げて行く事が出来ると考えます。

